

- ▶ 村内の森林面積は約8割で、うち9割はスギ、ヒノキの人工林が占めている。
- ▶ 木材利用の低迷が続き、林業従事者の高齢化・所有者の村外転出が進み、林業環境は、悪化の一途をたどっている。
- ▶ これまで通りの森林管理は年々限界に迫っている中、このまま放置すれば村の林業はさらに衰退することが必至となっており、森林経営計画の推進に加えて、村が主体となった森林整備の必要性が高まっている。
- ▶ 健全な森林を次世代へつなぐため、今後取組を進めるに当たっては、まずは「林業環境の改善」という課題を解決する必要があることから、これまで十分な管理ができていなかった路網の改修を進めることで、森林作業の効率化を図り、森林経営計画に基づく適切な経営管理と森林経営管理制度に基づく森林整備等を進めていくこととしている。

□ 事業内容

1 林業施設整備補助事業

- 森林作業の効率化と林業の作業環境をより良く改善するため、施業場所へのアプローチに利用する林道を管理者（大阪府森林組合）が改修する際に、その補修材料費等を補助
- 上限額 1件当たり400千円

【事業費】797千円（全額譲与税）

【実績】村内林道1路線2箇所補修



施業前

施業後

□ 事業スキーム

1 林業施設整備補助事業



□ 工夫・留意した点

- 村内林道の補修に係る原材料費等の補助を実施することで、林業環境の改善につなげることができた。
- 限られた予算を多くの路線の整備につなげていくよう配慮した。

◇ 基礎データ

①令和3年度譲与額	9,929千円
②私有林人工林面積（※1）	3,404ha
③林野率（※2）	80.7%
④人口（※3）	5,378人
⑤林業就業者数（※3）	12人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3：「H27年国勢調査」より

- ▶ 本村には路網（林道、作業道）がなく、木材搬出が困難等の理由により、適切に森林整備されていない森林が約1,500ha（村内森林面積の半数）存在している。
- ▶ 近年の大規模な土砂災害の発生は、森林の手入れが行き届いていないことが一因に。
- ▶ 森林環境贈与税を活用し、奥地等の条件不利により経営管理ができていない村内の森林における切捨間を支援することで、健全な森林を育成し、森林の持つ多面的機能の回復を図る。

□ 事業内容

1 条件不利森林間伐事業補助事業

- ・ 対象森林での適正な密度管理のための、切捨間伐及び伐採木の整理事業に要する経費を補助
- ・ 230千円/ha（1申請につき、施業対象面積10haを上限）
- ・ 地域森林計画対象森林のうち、以下の条件不利森林が対象
 - 路網施設等が未整備で、搬出間伐が困難
 - 過去15年以上施業履歴がない
 - 森林経営計画が作成されていない

【事業費】4,600千円（全額譲与税）

【実績】施業面積合計 20.4ha



切捨間伐後



標準地での現地検査

□ 事業スキーム

1 条件不利森林間伐事業補助事業



□ 工夫・留意した点

- ・ 交付審査にはチェックリストを作成し、林専門職員以外でも適正に審査できるようにした。
- ・ 現地検査では、標準地を2・3箇所設け、測量検査を実施した。

◇ 基礎データ

①令和3年度譲与額	9,929千円
②私有林人工林面積（※1）	3,404ha
③林野率（※2）	80.7%
④人口（※3）	5,378人
⑤林業就業者数（※3）	12人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3：「H27年国勢調査」より

- ▶ 海外からの安価な木材の輸入により、国産材の価格は落ち続け林業経営は苦しくなっている。
- ▶ 令和3年度は、森林環境譲与税を活用し、村内の森林における間伐材の搬出を支援することで、これまで以上に村内森林の間伐施業と木材利用の促進するとともに、健全な森林を育成し、森林の持つ多面的機能の回復を図った。
- ▶ 令和4年度においては、予算を拡大し、更に間伐材搬出量を増やすことでおおさか河内材の利用を促進していく。

□ 事業内容

1 間伐搬出利用促進補助事業

- 間伐搬出を促進し、山林の荒廃を解消することで、災害の未然防止及び健全な森林の育成並びに良好な村内全体の森林景観を維持するとともに千早赤阪村産材の促進を図るため、間伐材の搬出に要する経費を補助
- 7千円/㎡（1申請者あたり1,000千円を上限）
- 千早赤阪村森林組合木材センターへ搬出した間伐材
- 村内の全森林対象（同一年度内に当該補助金又は他の間伐若しくは間伐材の搬出に係る補助を受けていない）

【事業費】 3,680千円（全額譲与税）

【実績】 施業面積合計10.68ha
搬出量合計 639㎡



森林組合木材センター



おおさか河内材

□ 事業スキーム

1 間伐搬出利用促進補助事業



□ 工夫・留意した点

- 令和3年度から森林環境譲与税を充当するため、補助対象林を拡大するなど、より多くの方が活用できるように事業内容の見直しを行った。

◇ 基礎データ

①令和3年度譲与額	9,929千円
②私有林人工林面積（※1）	3,404ha
③林野率（※2）	80.7%
④人口（※3）	5,378人
⑤林業就業者数（※3）	12人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3：「H27年国勢調査」より